大阪自治労連 第21回 定期大会

憲法・平和・暮らしを守る 政治への転換を今こそ

定期大会の成功に奮闘した議長団のみなさん

大阪自治労連は９月11日から12日の２日間、大阪市中央区のシティプラザ大阪で、第21回定期大会を開催しました。９月１日に福田首相が突然に政権を投げ出し、衆議院解散・総選挙が必至という激動する政治情勢のもと、定期大会は多くの代議員の活発な討論を行い、今後１年間の運動方針を採択し、とりくみの先頭に立つ2009年度の役員を満場一致で選出しました。また、当面する2008年秋季年末闘争では、切実な職場要求実現と、総選挙での政治革新を結合してとりくむ決意を固めあいました。

発言に聴き入り、共感の拍手をし、挙手する代議員

おおさか自治体の仲間
発行：大阪自治労連（大阪自治体労働組合総連合）　2008年９月15日　No.236
〒530－0041　大阪市北区天神橋１－13－15大阪グリーン会館４Ｆ　☎06－6354－7201　FAX06－6354－7206
E-mail:mado@osaka-jichiroren.jp
URL:http://www.osaka-jichiroren.jp
発行人／谷　真琴　　編集人／西岡　健二
平成２年９月12日第３種郵便物認可
毎月15日発行（１部10円）組合員の購読料は組合費に含まれています。

日時だよ！ 全員集合

2008年秋季年末闘争のとりくみ＆行事

- **９月19日（金）** 自治労連近畿ブロック定期総会（シティプラザ大阪）
- **９月20日（土）～21日（日）** 大阪労連＆勤労協第７回役員セミナー（東大阪市・ホテルセイリュウ）
- **９月23日（火）** 大阪衛都連定期大会（シティプラザ大阪）
- **９月26日（金）** 消費税増税許さない９･26学習会
- **９月27日（土）～28日（日）** 第29回自治体にはたらく女性の全国交流集会（奈良市）
- **10月２日（木）** 大阪自治労連秋季闘争討論集会（エルおおさか）
- **10月５日（日）** 全国青年大集会2008
- **10月18日（土）～19日（日）** 第９回全国地方自治研究集会（京都市）
- **10月23日（木）～25日（土）** 第20回自治労連全国スポーツ大会・軟式野球大会
- **11月８日（土）～10日（月）** 大阪の自治体に働く青年のつどい
- **11月22日（土）～23日（日）** 大阪労連2009年春闘討論集会
- **11月29日（土）～30日（日）** 自治労連介護関係労働者全国交流集会
- **12月12日（金）～14日（日）** 第３回自治労連書記学校
- **12月13日（土）～14日（日）** 第３回自治労連非正規関連労働学校
- **12月18日（木）** 大阪自治労連第59回中央委員会

当方見聞録 とうほうけんぶんろく 14

均等待遇を日本の常識に

仁木　将（まさし）さん
上垣　優子さん

10月のＩＬＯ要請団に参加します

この11月に、ＩＬＯ（国際労働機関）の「条約勧告適用専門家委員会」では、日本のパート労働法がどうなっているのか、実際の適用状況、男女の賃金格差はないか、などについて審議をします。自治労連はこのチャンスに、ＩＬＯ要請団を派遣します。日程は10月11日から16日の６日間、要請団は全国から20人程度で、大阪からは、上垣優子さん（大阪自治労連関連評議会事務局長）、仁木将さん（吹田関連労組副委員長）の２人が参加します。

パート労働法では適用除外とされている自治体の非正規労働者の実態については、日本政府の報告書ではまったく触れていないおそれもあります。均等待遇とは程遠い、極めて劣悪な自治体の非正規労働者の雇用、賃金、労働条件の実態をしっかりとＩＬＯに伝え、国際的な世論を喚起することが代表団の大きな仕事です。

第21回大阪自治労連定期大会（９月11日）に代議員として参加した仁木将さんは、「自治体の非正規職員は職種はさまざまだが、市民に対してよりよい仕事をしたいという思いを持っている。私は学童保育の指導員だが、地域に根ざして放課後の子どもたちの安全を守って日々の仕事に向かっている。10月のＩＬＯ要請団に参加する。要請団の一員として、非常勤職員の待遇改善を訴えたい」と元気よく発言しました。

上垣優子さんは「自治体の中で、正規職員とまったく同じ仕事をしていながら、非正規職員は昇給も一時金も退職金もなく、年収は１００万円台。まさに自治体がワーキングプアを作り出しているのが実態です。均等待遇を日本の常識にしていきたいですね。仁木さんと２人、大阪の代表としてがんばってきます」と小さい体にヤル気をいっぱいつめて強調します。

ＩＬＯ派遣へカンパのご協力を
10月11日から16日の日程で、ＩＬＯ本部に行く大阪の要請団にぜひカンパのご協力をおねがいします。

BOOKオン（本の紹介）

「蟹工船」
小林多喜二・原作

（DVD版）

ワーキングプアを象徴する古典

今年の１月、「毎日新聞」紙上で、現在のワーキングプアの実態と関わって、プロレタリア作家・小林多喜二の『蟹工船』が取り上げられてから、『蟹工船』が社会的なブームになりました。戦前の『蟹工船』は地獄船ともいわれ、極度の奴隷労働の世界。消耗品扱いの過酷で非人間的な労働に対して、労働者が立ちあがりますが、そこに待っていたのは国家権力によるいっそうの弾圧でした…。文庫本の『蟹工船』（新潮社版、420円）は40万部を超えるベストセラーに。コミック版では東銀座出版社発行の『蟹工船』が510円＋税。DVDは1953年に公開された独立プロ作品『蟹工船』（監督・脚本は山村聡）があります。モノクロで109分。発売元・北星株式会社2940円。